

平成28年度

全国学力・学習状況調査の 結果について



海西中生徒会イメージキャラクター「カイチュー」



海老名市立海西中学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に興味がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

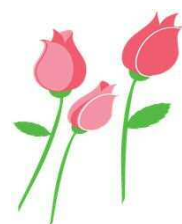
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成28年4月19日(火)



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- ◎「読む」能力に優れています。特に、設問3の二の登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する力に優れています。
- 「話す・聞く」能力に優れています。特に設問5の一の相手や場に応じた言葉遣いなどに気をつけて話す力に優れています。

《努力を要する所》

- 「言語についての知識・理解・技能」に努力を要します。特に設問9の三で問われた語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う力に課題が見られます。設問9の四の辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える力にも課題が見られます。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 「読む」能力に優れています。特に、設問1の二の目的に応じて必要な情報を読み取る力に優れています。また、設問3の一の文章の展開に即して内容を理解する力に優れています。設問1の一の文章の中心的部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える力にも優れています。

《努力を要する所》

- 「書く」能力に努力を要します。特に、設問2の三の課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える力に課題が見られます。また、本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く力に課題が見られます。

これまでの取組から

- 日常生活において、その場にふさわしい言葉遣いをする取組を継続していきます。
- 朝読書の時間を効果的に使い、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する力を伸ばしていきます。

今後の具体的な取組について

- 文や文章をよく読み、そこから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く取組を意識的に行っていきます。伝えたい事柄が、相手に効果的に伝わるように書く取組にも力を入れていきます。



数学に関する調査結果

数 学 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 「数と式」領域の「技能」「知識・理解」ともに優れています。特に、設問3の(4)のように、2つの方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表す技能に優れています。
- 「図形」領域における「知識・理解」に優れています。特に、設問5の(2)のように、四角形をその面と垂直な方向に平行に動かすと、四角柱が構成されることをよく理解しています。

《努力を要する所》

- 「関数」領域の「知識・理解」「技能」に努力を要します。特に、設問9の(3)の反比例のグラフ上の点の座標から x 、 y の式で表すことや、設問9の(4)の具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例の関係になることの理解に課題が見られます。
- 「資料の活用」領域の設問12(2)での、測定値と近似値と誤差の意味を理解することにも課題が見られます。

数 学 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 「数と式」領域の「数学的な見方・考え方」に優れています。特に、設問1の(1)の与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することに優れています。
- 「図形」領域における「数学的な見方・考え」に優れています。特に、設問4の(2)の付加された条件の下で、新たな事柄を見出し、説明することに優れています。

《努力を要する所》

- 「関数」領域の「数学的な見方・考え」に努力を要します。特に、設問2の(2)の加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することに課題が見られます。
- 「数と式」領域の「数学的な見方・考え」に努力を要します。特に、6の(2)の与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することに課題が見られます。

これまでの取組から

- 少人数学習により、個別の対応がしやすくなり学習効果が表れてきています。
- 授業時間内では、理解を深めるまでの演習が難しいので、家庭学習における演習時間の確保が必要です。

今後の具体的な取組について

- 関数の理解については、身近な生活に題材を設定して理解を深めるように努めていきます。
- どの領域についても、根拠になる条件等を確実に理解し、多角的に考察する力を身につけるように指導していきます。



生徒質問紙の結果より

※数値の単位は%、()内は全国平均
※肯定的な回答は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計

学習について

《よかった所》

学習意欲が高いです。「授業で自ら考え、取り組んでいたか」の質問では、肯定的な回答が85.4(73.8)とプラス11.6となっています。また、「課題解決的な学習」や「話し合い活動」においても肯定的な回答が、全国に比べ、10ポイント以上高い数値になっています。

《課題と思われる所》

「授業のノートに目標やまとめを書いていたか」の質問では、69.2 (76.8)でマイナス7.6となっています。また、「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いているか」の質問では、ワークシートを用いた学習形態をとっていることもありますが、40.7(81.1)でマイナス40.4となっています。

生活について

《よかった所》

自尊感情が高く、チャレンジ精神があります。「自分にはよいところがありますか」「失敗を恐れなくて挑戦していますか」の質問では、肯定的な回答がそれぞれ80.8(69.6)と80.2(69.3)とプラス10以上になっています。また、規範意識が高いです。「学校の規則を守っていますか」の質問では、肯定的な回答が98.3(94.7)となっており、「いじめはいけない」についても94.1(93.6)となっています。



《課題と思われる所》

地域や社会に目を向けた活動が望まれます。「地域や社会でおこっている出来事に関心がありますか」の質問では、58.1(65.9)とマイナス7.7となっています。地域の一員としての意識や活動を期待します。

これまでの取組から

本校では、「人間関係づくりに生きるグループワークの研究」に取り組んでいます。特別活動や総合的な学習だけでなく教科を含め、学校教育全般において取り組んできました。話し合い活動を核とするグループワークの研究・実践に取り組んだ結果、生徒の思考力・判断力・表現力が育成され、今回の調査においても、高い数値を生む原動力となったと分析します。

今後の具体的な取組について

授業におけるその時間の目標やねらいが、一層明確に意識できるよう導入を工夫するとともに、まとめとしての目標の振り返り場面を確保します。また、授業で使用するワークシートは、自分の考えや解き方をメモできるように形式を工夫し、有効活用する指導に努めます。

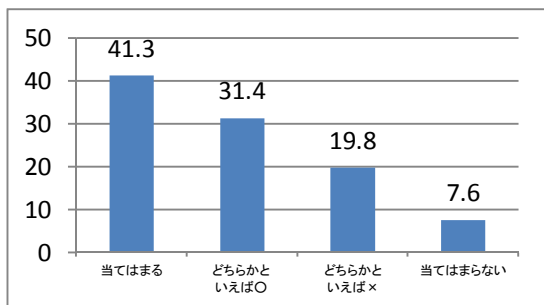
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 ご家庭でも夢や目標について語り合いましょう。

将来の夢や目標を語り合い、励まし合う雰囲気大切にしましょう。

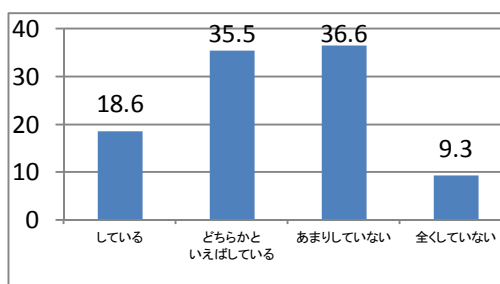
将来の夢や目標を持っていますか



2 計画的に学習に取り組みましょう。

家庭での学習はきちんと行っています。さらに、計画的に取り組めるよう心がけましょう。

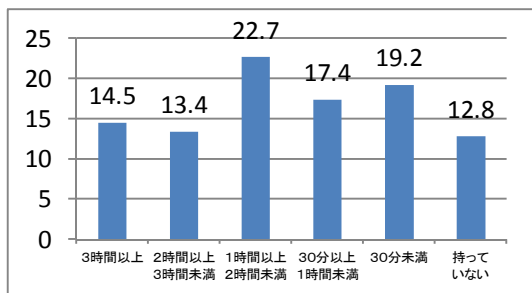
自分で計画を立てて勉強していますか



3 携帯電話やスマートフォンは時間とルールを決めて使いましょう。

テレビやゲームを含め、使用については家族でルールを確認しておきましょう。

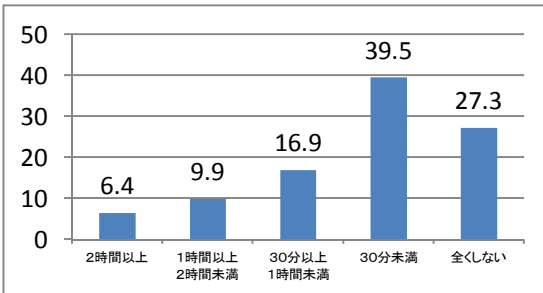
どれくらい携帯やスマートフォンを使いますか



4 読書の機会を広げましょう。

読書好きな生徒は多いです。学校図書館や地域の図書館を活用しましょう。

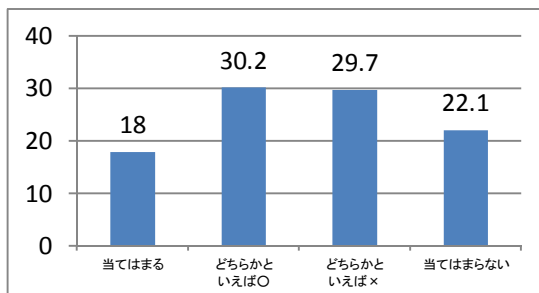
平日どれくらい読書を読みますか



5 地域の絆を強くしましょう。

普段から地域の活動に参加し、非常時にも助け合う関係をつくりましょう。

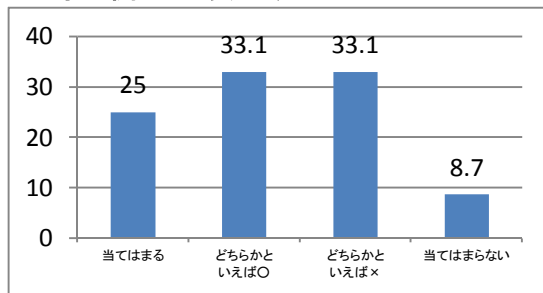
地域の行事に参加していますか



6 地域や社会に関心を持ちましょう。

地域や社会の問題や出来事について話をする場面を増やし、自分の考えを持ちましょう。

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか





平成28年11月